

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニレコ

コード番号 6863 URL <http://www.nireco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川路 憲一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理部門長 (氏名) 長塚 寛

TEL 042-642-3111

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,174	△24.8	△82	—	△71	—	66	389.2
25年3月期第1四半期	1,563	9.5	6	—	22	—	13	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 0百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △64百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	9.05	9.00
25年3月期第1四半期	1.86	1.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	12,635	10,926	85.8
25年3月期	12,497	11,009	87.3

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 10,836百万円 25年3月期 10,914百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,000	△10.6	△50	—	△30	—	80	△22.3	10.83
通期	8,000	11.2	550	29.0	600	23.5	530	1.8	71.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年8月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	9,205,249 株	25年3月期	9,205,249 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	1,819,219 株	25年3月期	1,826,619 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	7,381,259 株	25年3月期1Q	7,323,602 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビューが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、上記予想に関する事項は添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長引く欧州経済の低迷、中国の経済成長鈍化など海外の景気減速懸念があるものの、為替の円安進行や株価の上昇などにより景気回復に向けた明るい兆しが見られました。

しかしながら、当社グループ（当社及び連結子会社）の主要取引先であります印刷業、紙加工業、電子部材メーカー、鉄鋼業及び化学工業などにおきましては、市場動向を見極めたいという姿勢から設備投資に慎重な傾向が続きました。

このような情勢の下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は1,174百万円（前年同期比75.2%）、営業損失は82百万円（前年同期は営業利益6百万円）、経常損失は71百万円（前年同期は経常利益22百万円）となりました。一方、保有株式の売却による特別利益として投資有価証券売却益142百万円を計上したため、四半期純利益は66百万円（前年同期比489.2%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① プロセス事業

プロセス事業における主要取引先であります鉄鋼業界は、国内環境に改善の兆しが見られるものの、アジアを中心とした新興国の経済成長が鈍化する中、中国での鉄鋼材供給過剰による世界的な市況低迷の影響を受けました。このような状況において、生産の維持に必要な中小型の設備改修・更新案件の獲得、予備品・部品の販売やメンテナンスなどのアフターサービスに注力するとともに、鉄鋼製品の品質向上と生産効率化を支える新製品群の積極的な営業活動を進め、新たなニーズの掘り起しに注力しましたが、国内の設備投資については慎重であるため、結果として、プロセス事業の売上高は380百万円（前年同期比59.7%）、セグメント利益は10百万円（前年同期比12.8%）となりました。

② ウェブ事業

ウェブ事業における主要取引先であります高機能フィルム業界は、引き続きスマートフォンやタブレット端末の旺盛な需要の下、中小型パネル向け部材の生産は好調なものの、設備投資に関しては対象を絞る動きとなりました。また、二次電池市場に対しては予想外に需要が伸び悩んでいることから設備投資に消極的でした。このような状況において、耳端位置制御装置や張力制御装置の新製品を中心に積極的な営業活動に注力しましたが、前年同期の売上高には及びませんでした。

もう一方の主要取引先であります印刷業界は、包装や特殊印刷などに対象を絞って印刷品質検査装置や糊付け装置の拡販に注力しましたが、前年同期の売上高を下回りました。

結果として、ウェブ事業の売上高は662百万円（前年同期比88.9%）、セグメント利益は86百万円（前年同期比75.1%）となりました。

③ 検査機事業

検査機事業の主要製品であります無地検査装置は、スマートフォンやタブレット端末の高精細画面に対するニーズを背景に、電子部材メーカーの高性能な検査装置に対する需要は根強いものの、景気の先行き不透明感から設備投資に慎重な姿勢を見せるメーカーが多くありました。このような状況において、今後の新たな設備投資需要を捉えるべく粘り強い営業活動を展開すると共に、能力を大幅に向上させた新型機の下期投入に向けた最終準備に注力しました。また、二次電池向け電極シート検査装置は、市場が伸び悩む中、シェアの維持と将来の本格的な設備投資需要に備えた営業活動に注力しました。

もう一つの主要製品であります選果装置は、国内選果場設備の更新期を迎えている中、独自技術である生傷・腐敗センサが高く評価されており、海外の新規開拓も加え、柑橘類向けを中心に多くの受注を獲得しました。

但し、どちらの製品も納期が下期となるため、結果として、検査機事業の売上高は123百万円（前年同期比70.8%）、セグメント損失は25百万円（前年同期はセグメント損失47百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて137百万円増加し12,635百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少829百万円、投資有価証券の売却を主な要因とした減少213百万円などがあったものの、売掛債権の回収を主な理由とした現金及び預金の増加943百万円、商品及び製品の増加167百万円、仕掛品の増加80百万円、原材料及び貯蔵品の増加40百万円などがあった事によります。また、負債は前連結会計年度末に比べて220百万円増加し1,708百万円となりました。これは主に繰延税金負債の減少61百万円、未払消費税等の減少26百万円、役員賞与引当金の減少16百万円、未払法人税等の減少14百万円があったものの、その他流動負債の増加200百万円、未払費用の増加126百万円があった事によります。

純資産は前連結会計年度末に比べて82百万円減少し10,926百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定の増加28百万円があったものの、配当金の支払い等による利益剰余金の減少10百万円、有価証券評価差額金の減少100百万円があった事によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間までの業況見通しは、「連結経営成績に関する定性的情報」に記載のように、経済環境としては明るい兆しが見えるものの、当社取引先においては当初想定以上に設備投資に慎重な傾向が続いていることや、検査機事業における選果装置の大型案件の売上計上時期が当初予想より遅れ、第3四半期会計期間以降になる事などにより、第2四半期の業績予想につきましては見直しをおこないました。その結果、当初予想に比べ売上高が600百万円、営業利益、経常利益が各々200百万円、当期純利益が120百万円の下方修正をおこなっております。

通期見通しにつきましては、不確定な要素が多いことから、現時点においては前回の予想を変更しないものとしております。

なお、詳細は本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,648,003	4,591,411
受取手形及び売掛金	2,857,019	2,027,534
有価証券	72,787	31,283
商品及び製品	1,215,001	1,382,030
仕掛品	491,918	572,076
原材料及び貯蔵品	477,263	518,159
繰延税金資産	333,677	337,287
その他	239,188	264,327
貸倒引当金	△28,741	△24,535
流動資産合計	9,306,118	9,699,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	418,612	410,844
機械装置及び運搬具(純額)	89,341	81,581
工具、器具及び備品(純額)	65,260	63,159
土地	650,942	644,942
建設仮勘定	4,140	3,150
有形固定資産合計	1,228,297	1,203,678
無形固定資産		
リース資産	108,964	98,937
その他	27,603	26,796
無形固定資産合計	136,567	125,734
投資その他の資産		
投資有価証券	1,356,520	1,142,970
長期貸付金	261,350	255,328
繰延税金資産	2,521	2,521
破産更生債権等	172,195	172,111
その他	209,010	208,492
貸倒引当金	△175,229	△175,097
投資その他の資産合計	1,826,369	1,606,326
固定資産合計	3,191,234	2,935,739
資産合計	12,497,352	12,635,315

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	245,420	267,176
1年内返済予定の長期借入金	32,000	32,000
リース債務	30,107	26,330
未払費用	382,159	508,748
未払法人税等	39,668	24,830
未払消費税等	39,017	12,587
役員賞与引当金	24,100	8,025
工事損失引当金	108,470	115,564
その他	198,443	399,055
流動負債合計	1,099,386	1,394,318
固定負債		
長期借入金	112,000	96,000
リース債務	78,857	72,606
繰延税金負債	74,250	12,381
退職給付引当金	103,752	113,573
役員退職慰労引当金	19,306	19,778
負ののれん	266	—
固定負債合計	388,432	314,339
負債合計	1,487,818	1,708,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,072,352	3,072,352
資本剰余金	4,124,646	4,124,646
利益剰余金	4,809,504	4,798,539
自己株式	△1,242,065	△1,237,033
株主資本合計	10,764,438	10,758,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164,672	63,773
為替換算調整勘定	△14,331	14,597
その他の包括利益累計額合計	150,341	78,370
新株予約権	23,425	32,085
少数株主持分	71,329	57,697
純資産合計	11,009,533	10,926,657
負債純資産合計	12,497,352	12,635,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,563,080	1,174,863
売上原価	973,390	771,013
売上総利益	589,689	403,850
販売費及び一般管理費	583,542	485,931
営業利益又は営業損失(△)	6,147	△82,081
営業外収益		
受取利息	5,108	4,912
受取配当金	3,985	3,745
負ののれん償却額	5,882	266
その他	6,337	5,393
営業外収益合計	21,313	14,316
営業外費用		
支払利息	306	941
為替差損	2,126	—
その他	2,196	3,048
営業外費用合計	4,629	3,990
経常利益又は経常損失(△)	22,831	△71,755
特別利益		
投資有価証券売却益	—	142,379
負ののれん発生益	14,536	15,899
特別利益合計	14,536	158,279
税金等調整前四半期純利益	37,367	86,523
法人税等	23,533	19,172
少数株主損益調整前四半期純利益	13,834	67,351
少数株主利益	184	576
四半期純利益	13,649	66,774

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,834	67,351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103,989	△100,899
為替換算調整勘定	25,505	33,619
その他の包括利益合計	△78,483	△67,279
四半期包括利益	△64,649	71
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,689	△5,195
少数株主に係る四半期包括利益	3,039	5,267

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	637,364	745,845	174,684	1,557,893	5,187	1,563,080	—	1,563,080
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	637,364	745,845	174,684	1,557,893	5,187	1,563,080	—	1,563,080
セグメント利益 又は損失(△)	80,660	115,474	△47,174	148,960	67	149,027	△142,880	6,147

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△142,880千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結累計期間において、プロセス事業に関連した負ののれんを14,536千円計上しております。これは、当社が追加取得した子会社株式の取得原価が、当該追加取得に伴う少数株主持分の減少額を下回った事によるものであります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	380,757	662,724	123,734	1,167,215	7,648	1,174,863	—	1,174,863
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	380,757	662,724	123,734	1,167,215	7,648	1,174,863	—	1,174,863
セグメント利益 又は損失(△)	10,356	86,675	△25,424	71,607	△4,394	67,213	△149,294	△82,081

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△149,294千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結累計期間において、プロセス事業に関連した負ののれんを15,899千円計上しております。これは、当社が追加取得した子会社株式の取得原価が、当該追加取得に伴う少数株主持分の減少額を下回った事によるものであります。